第 I 部 総 論

1 水道の普及状況

本県の水道普及率は平成21年3月末現在、給水人口4,691千人で、総人口5,053千人に対し92.8%となっており、全国平均の97.5%に比べ4.7ポイント低い状況にあります。

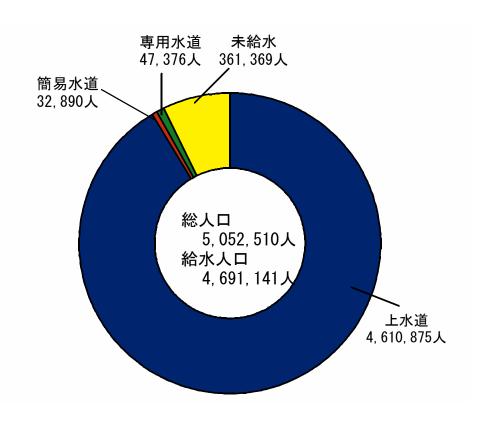
広域圏別では、福岡地域が96.1%と最も水道普及率が高く、次いで北九州地域が95.5%、 筑豊地域が94.4%の順であり、比較的地下水に恵まれた地域を抱える筑後地域が80.1%と なっています。

◎ 現在給水人口と普及率 (平成21年3月末現在)

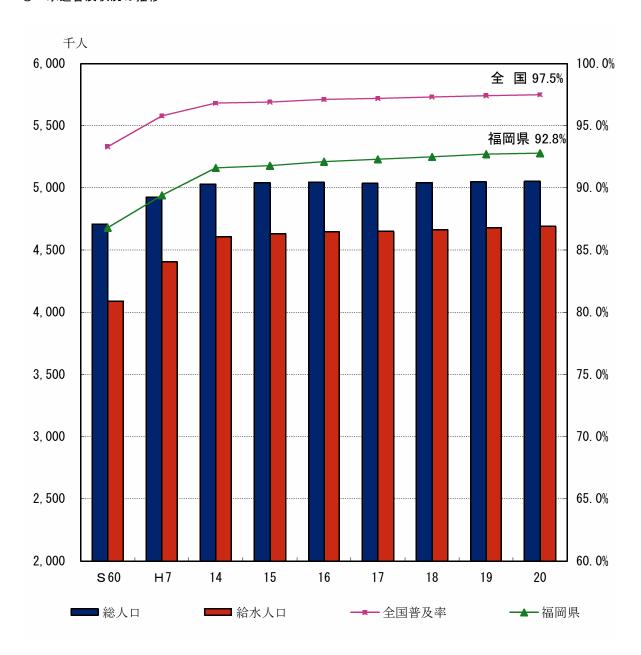
広域圏	総人口	現在	給水人口		未給水人口	普及率	
広 域 圏	(人)		上水道	簡易水道	専用水道	(人)	音及举
福岡	2, 377, 322	2, 284, 045	2, 257, 109	2, 280	24, 656	93, 277	96. 1%
北九州	1, 310, 516	1, 251, 808	1, 238, 386	7, 325	6, 097	58, 708	95. 5%
筑後	927, 116	742, 324	710, 573	16, 621	15, 130	184, 792	80. 1%
筑 豊	437, 556	412, 964	404, 807	6, 664	1, 493	24, 592	94. 4%
県 計	5, 052, 510	4, 691, 141	4, 610, 875	32, 890	47, 376	361, 369	92. 8%

※ 専用水道は、自己水源によるもののみを計上

また、水道の種類別の給水人口を見ると、上水道 4,611千人、簡易水道 33千人、専用水 道 47千人となっており、水道未給水人口は361千人という状況にあります。



◎ 水道普及状況の推移



		S 60	Н7	14	15	16	17	18	19	20
	総 人 口 (千人)	4, 708	4, 926	5, 031	5, 042	5, 046	5, 037	5, 043	5, 049	5, 053
糸	合水人口 (千人)	4, 090	4, 404	4,609	4, 630	4, 648	4,650	4, 666	4, 680	4, 691
普及	福岡県	86. 8%	89. 4%	91.6%	91.8%	92. 1%	92. 3%	92. 5%	92. 7%	92.8%
率	全 国	93. 3%	95. 8%	96.8%	96. 9%	97. 1%	97. 2%	97. 3%	97.4%	97. 5%

2 給水の状況

(1)年間給水量

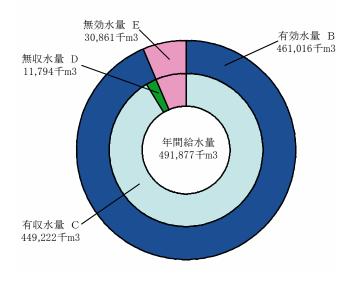
県内の年間給水量は491,877千㎡であり、前年度と比べ5,534千㎡減少しています。そのうち、上水道による給水が488,817千㎡と、その大部分を占めています。

年間給水量の内訳は、有効水量が461,016千㎡、漏水などの無効水量が30,861千㎡となっています。

◎ 広域圏別給水量(上水道、簡易水道)

(単位: 千m³)

区分	広:	域 圏	年間給水量 A (B+E)	有効水量 B	有効水量 有収水量 C	量の内訳 無収水量 D	無効水量 E	有効率 B/A	有収率 C/A
	福	岡	221, 808	214, 478	211, 587	2, 891	7, 330	96. 7%	95.4%
上	北	九州	147, 580	134, 216	128, 511	5, 705	13, 364	90.9%	87.1%
水	筑	後	69, 913	66, 403	64, 517	1,886	3, 510	95.0%	92.3%
道	筑	豊	49, 516	43, 377	42, 142	1, 235	6, 139	87.6%	85.1%
		計	488, 817	458, 474	446, 757	11,717	30, 343	93.8%	91.4%
	福	岡	214	203	197	6	11	94.9%	92.1%
簡日	北	九州	523	467	463	4	56	89.3%	88.5%
易水	筑	後	1,601	1, 319	1, 298	21	282	82.4%	81.1%
道	筑	豊	722	553	507	46	169	76.6%	70.2%
		計	3,060	2, 542	2, 465	77	518	83.1%	80.6%
	合	計	491, 877	461,016	449, 222	11, 794	30, 861	93.7%	91.3%



○年間給水量:水道事業者が自己の給水区域に対して給水した量

○有 効 水 量:メータで計測された水量(有収水量+無収水量)

○有 収 水 量:料金徴収の基礎となった水量

○無 収 水 量:料金徴収の対象とならなかった水量(管洗浄用、公衆便所用等)

○無 効 水 量:配水管からの漏水等無効となった水量

(2) 用途別有収水量

上水道の有収水量を用途別に見ると、生活用が 344,512千㎡、業務・営業用が90,688千㎡、工場用が9,395千㎡、その他が2,162千㎡となっており、生活用、業務・営業用が大部分を占めています。

◎ 広域圏別用途別有収水量(上水道)

(単位:千m³)

広域圏	生 活 用	業務・営業用	工場用	その他	計
福岡	165, 826	44, 465	721	575	211, 587
北九州	100, 420 22, 343		4, 564	1, 184	128, 511
筑後	45, 019 17, 081 2, 259		2, 259	158	64, 517
筑 豊	33, 247	6, 799	1,851	245	42, 142
計	344, 512	90, 688	9, 395	2, 162	446,757
構成比率	77.1%	20.3%	2.1%	0.5%	100.0%

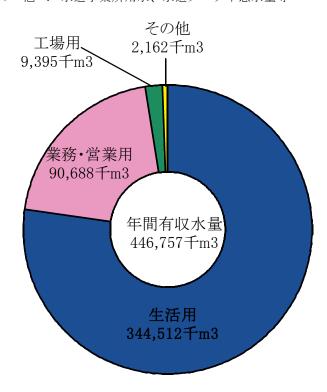
※ 用途区分は次のとおり

生 活 用:一般家庭用

業務営業用 : 官公署、学校、病院、事務所、公衆浴場用等

工 場 用 : 工場用

そ の 他: 水道事業所用水、水道メータ不感水量等



(3) 平均給水量、最大給水量

- 一日平均給水量は1,348千m³、一日最大給水量は1,553千m³となっています。
- 一人一日当たりでは、平均給水量が290リットル、最大給水量は334リットルとなっており、広域圏別に見ると、筑豊、北九州地域が他の地域より多くなっています。

また、上水道の一人一日当たりの平均、最大給水量はどちらも全国平均より低い数値となっています。

◎ 広域圏別平均給水量、最大給水量

		平均給	水量	最大給	水量
広域圏	区分	日平均	一人一日	日最大	一人一日
		(m3)	(リツ) トル)	(m3)	(リツ) トル)
	上水道	607, 693	269	688, 384	305
福岡	簡易水道	587	257	1, 034	454
	計	608, 280	269	689, 418	305
	上水道	404, 329	326	454, 824	367
北九州	簡易水道	1, 433	196	2, 090	285
	計	405, 762	326	456, 914	367
	上水道	191, 543	270	228, 455	322
筑 後	簡易水道	4, 387	264	5, 237	315
	計	195, 930	269	233, 692	321
	上水道	135, 660	335	169, 831	420
筑 豊	簡易水道	1, 977	297	2, 760	414
	計	137, 637	334	172, 591	419
	上水道	1, 339, 225	290	1, 541, 494	334
県 計	簡易水道	8, 384	255	11, 121	338
	計	1, 347, 609	290	1, 552, 615	334
全 国	上水道	_	355	_	410

※全国は、平成20年度が未公表のため、前年度(平成19年度)を掲載。

〇 平均給水量

・日 平 均:年間給水量 ÷ 365日(1年)

·一人一日:日平均給水量 ÷ 給水人口

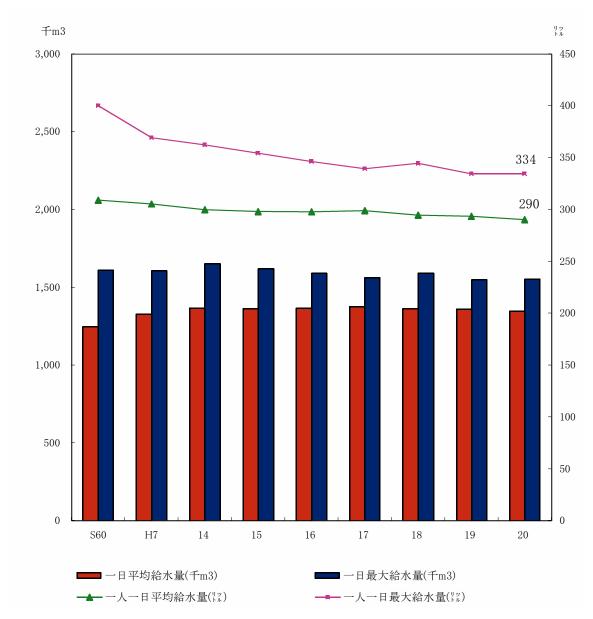
〇 最大給水量

・日 最 大:水道事業者毎の日最大給水量の合計

·一人一日:日最大給水量 ÷ 給水人口

一日平均給水量及び一人一日平均給水量は、近年、ほぼ横ばいで推移していますが、 一日最大給水量及び一人一日最大給水量は、減少傾向にあります。

◎ 一日平均給水量、一日最大給水量の推移(上水道、簡易水道)

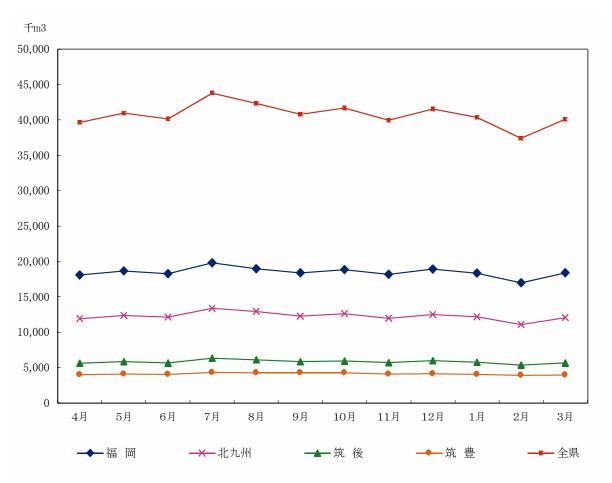


年 度 区 分	S60	Н7	14	15	16	17	18	19	20
一日平均給水量(千m³)	1, 245	1, 329	1, 366	1, 362	1,367	1, 376	1, 361	1, 359	1, 348
一日最大給水量(千m³)	1,611	1,607	1,651	1,620	1,589	1, 562	1, 591	1,548	1, 552
一人一日平均給水量(゚゚゚゚゚)	309	305	300	298	298	299	295	294	290
一人一日最大給水量(マ゚ス゚)	400	369	362	354	346	339	345	334	334

(4) 月別給水量

月別給水量の最大は7月の43,792千㎡、最小は2月の37,405千㎡となっています。

◎ 月別給水量(上水道)



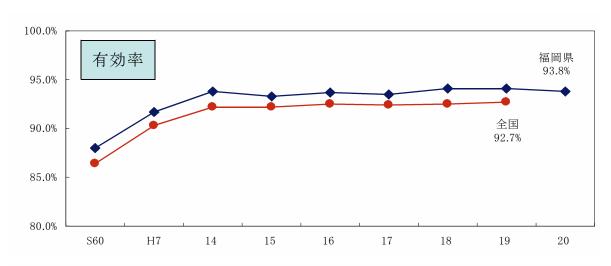
(単位:千m3)

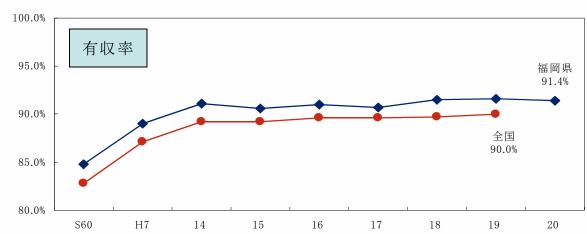
広域圏	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福岡	18,087	18,642	18,254	19,792	18,966	18,389	18,826	18,159	18,929	18,335	17,010	18,419	221,808
北九州	11,938	12,375	12,144	13,387	12,961	12,275	12,627	11,990	12,520	12,195	11,100	12,068	147,580
筑後	5,617	5,845	5,693	6,318	6,127	5,854	5,953	5,722	5,975	5,784	5,359	5,666	69,913
筑 豊	4,006	4,101	4,047	4,295	4,290	4,291	4,277	4,113	4,144	4,054	3,936	3,962	49,516
計	39,648	40,963	40,138	43,792	42,344	40,809	41,683	39,984	41,568	40,368	37,405	40,115	488,817

(5) 有効率、有収率

上水道の有効率は93.8%、有収率は91.4%となっており、どちらも全国平均を上回って推移しています。

◎ 有効率、有収率の推移(上水道)





		S60	H7	14	15	16	17	18	19	20
有効	福岡県	88.0%	91.7%	93.8%	93.3%	93.7%	93.5%	94.1%	94.1%	93.8%
率	全 国	86.4%	90.3%	92.2%	92.2%	92.5%	92.4%	92.5%	92.7%	未公表
有	福岡県	84.8%	89.0%	91.1%	90.6%	91.0%	90.7%	91.5%	91.6%	91.4%
収率	全 国	82.8%	87.1%	89.2%	89.2%	89.6%	89.6%	89.7%	90.0%	未公表

○ 有効率 :年間給水量に対する有効水量の割合を示すもので、給水される水量が

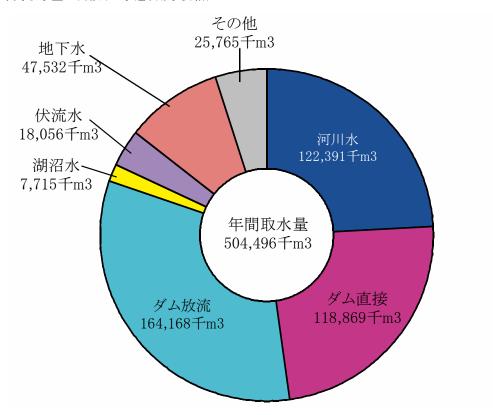
どの程度有効に使用されているかを示す指標

○ 有収率 :年間給水量に対する有収水量の割合を示すもので、給水される水量が どの程度収益につながっているかを示す指標

3 取水の状況

年間取水量は504,496千㎡で、そのうち河川水、ダム直接、ダム放流等、河川からの取水が405,428千㎡と大部分を占めています。

◎ 年間取水量の内訳(上水道、用水供給)



◎ 年間取水量の推移(上水道、用水供給)

(単位:千m3)

年 度	昭和60	平成7	14	15	16	17	18	19	20
河川水	116,791	163,039	175,169	123,102	113,170	129,617	117,238	139,094	122,391
ダム直接	131,761	113,409	89,972	119,435	135,212	109,365	124,851	99,574	118,869
ダム放流	134,891	120,667	149,948	164,474	161,366	165,716	171,721	172,450	164,168
湖沼水	5,537	7,981	10,037	9,390	9,140	9,327	7,916	8,018	7,715
伏 流 水	22,736	24,389	19,390	31,400	31,481	31,518	22,851	21,812	18,056
地下水	47,998	56,701	56,407	53,219	52,792	49,135	46,747	48,533	47,532
その他	1,003	1,429	555	556	722	12,756	11,670	13,803	25,765
(海水淡水化)	-	_		_		(12,115)	(10,973)	(13,154)	(25,205)
計	460,717	487,615	501,478	501,576	503,883	507,434	502,994	503,284	504,496

※ その他欄の()は、海水淡水化施設で内数。(平成17年度以降)

4 財務の状況

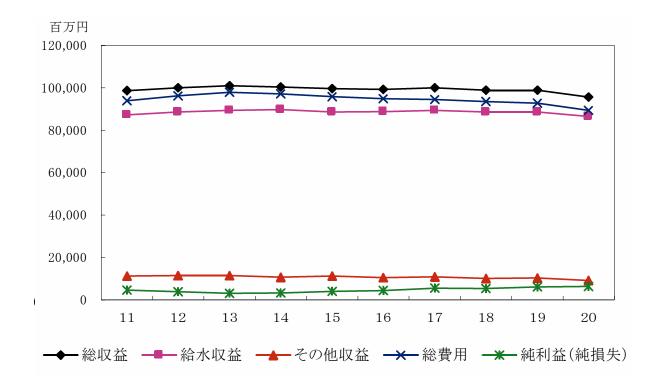
(1)総収益と総費用

上水道事業体の総収益は956億円で前年度と比較して32億円減少しましたが、総費用 も893億円と35億円減少したため、総収益から総費用を差し引いた純利益は63億円と3億 円増加しました。

◎ 総収益と総費用の推移(上水道)

(単位:千円)

年度	総	収 益 (A)	総費用	純 利 益	
十 及		給水収益	その他収益	(B)	(A)-(B)	
11	98,572,998	87,315,618	11,257,380	93,920,438	4,652,560	
12	99,991,978	88,589,503	11,402,475	96,161,674	3,830,304	
13	100,865,342	89,364,273	11,501,069	97,865,602	2,999,740	
14	100,354,128	89,723,312	10,630,816	97,124,321	3,229,807	
15	99,672,599	88,521,447	11,151,152	95,729,747	3,942,852	
16	99,204,559	88,818,953	10,385,606	94,810,766	4,393,793	
17	100,047,167	89,247,728	10,799,439	94,507,398	5,539,769	
18	98,795,931	88,664,781	10,131,160	93,537,038	5,258,893	
19	98,824,166	88,573,973	10,250,193	92,806,199	6,017,967	
20	95,636,195	86,497,671	9,138,524	89,317,396	6,318,799	



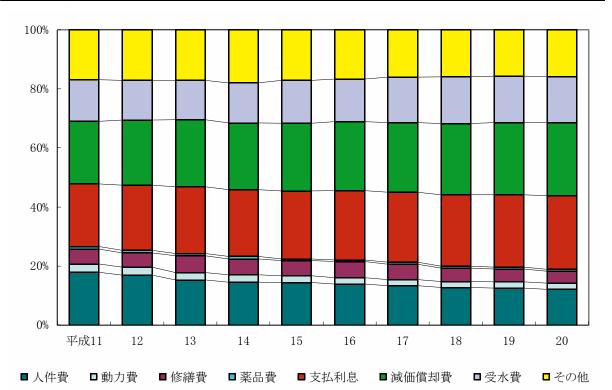
(2)費用構成

上水道事業体の費用構成の推移をみると、人件費、修繕費及び支払利息等は減少傾向 にありますが、減価償却費は増加しています。

◎ 費用構成の推移(上水道)

(単位:千円)

			(辛四)								<u> </u>	
4	年 /	度	平成11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
,	件	費	16,937,898	16,832,424	15,759,860	15,035,890	14,881,041	14,359,178	14,004,073	13,473,489	13,326,208	12,674,745
八	77	貝	(18.4%)	(17.8%)	(16.3%)	(15.7%)	(15.8%)	(15.3%)	(15.0%)	(14.5%)	(14.5%)	(14.3%)
動	力	費	2,684,805	2,706,867	2,592,935	2,592,371	2,359,489	2,293,631	2,249,976	2,095,249	2,194,508	2,216,800
野川	JJ	貝	(2.9%)	(2.9%)	(2.7%)	(2.7%)	(2.5%)	(2.5%)	(2.4%)	(2.3%)	(2.4%)	(2.5%)
仮	繕	費	4,723,826	4,817,777	5,912,343	5,547,921	5,360,102	5,696,300	5,481,056	4,894,972	4,668,713	4,229,611
115	小台	貝	(5.1%)	(5.1%)	(6.1%)	(5.8%)	(5.7%)	(6.1%)	(5.9%)	(5.3%)	(5.1%)	(4.8%)
本	品	費	839,143	801,378	756,907	844,575	521,181	606,479	694,760	639,946	711,474	688,817
采	ПП	貝	(0.9%)	(0.8%)	(0.8%)	(0.9%)	(0.6%)	(0.6%)	(0.7%)	(0.7%)	(0.8%)	(0.8%)
士.	+/ 4	计日	17,353,970	16,954,109	16,513,125	15,602,872	14,701,752	13,963,110	13,078,195	12,408,242	11,540,718	9,559,580
X :	<i>1</i> 44 1	制息	(18.9%)	(18.0%)	(17.1%)	(16.3%)	(15.6%)	(14.9%)	(14.0%)	(13.4%)	(12.6%)	(10.8%)
油花	工//	却費	19,984,551	21,945,682	23,379,446	23,386,131	23,739,122	24,341,977	24,876,796	25,536,256	25,935,327	26,095,868
<i>0</i> 9X11	川貝	小月	(21.8%)	(23.2%)	(24.2%)	(24.4%)	(25.2%)	(26.0%)	(26.6%)	(27.6%)	(28.3%)	(29.5%)
<u>517</u> ,	水	費	13,357,878	13,365,708	13,816,134	14,063,968	14,954,759	14,919,555	16,120,921	16,761,061	16,636,838	16,317,695
又	//\	貝	(14.5%)	(14.2%)	(14.3%)	(14.7%)	(15.9%)	(15.9%)	(17.3%)	(18.1%)	(18.1%)	(18.5%)
2	の	他	15,945,325	17,026,407	17,700,467	18,625,815	17,736,298	17,393,610	16,916,950	16,879,258	16,720,923	16,656,167
~	V)	J.F.	(17.4%)	(18.0%)	(18.4%)	(19.5%)	(18.8%)	(18.6%)	(18.1%)	(18.2%)	(18.2%)	(18.8%)
	計		91,827,396	94,450,352	96,431,217	95,699,543	94,253,744	93,573,840	93,422,727	92,688,473	91,734,709	88,439,283
	耳下		(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)



5 水道料金(上水道)

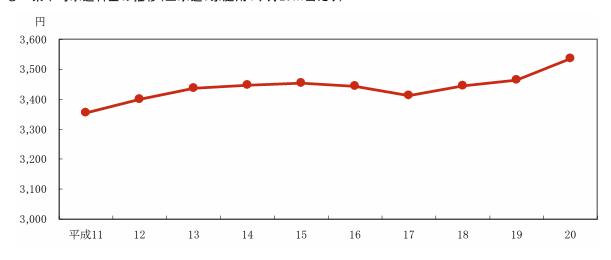
水道料金は、水道事業体間で異なり、家庭用 1 ヶ月20㎡当たりの料金は、下記の表のとおり3,500円以上4,000円未満の事業体が最も多く、18事業体となっています。 なお、家庭用 1 ヶ月20㎡当たりの水道料金の県平均は3,546円となっています。

◎ 家庭用1ヶ月20㎡当たりの水道料金(上水道)

(平成21年3月31日現在)

区分	事業体数
2,000円以上~2,500円未満	5
2,500円以上~3,000円未満	10
3,000円以上~3,500円未満	9
3,500円以上~4,000円未満	18
4,000円以上~4,500円未満	13
4,500円以上	3

◎ 県平均水道料金の推移(上水道:家庭用1ヶ月20㎡当たり)



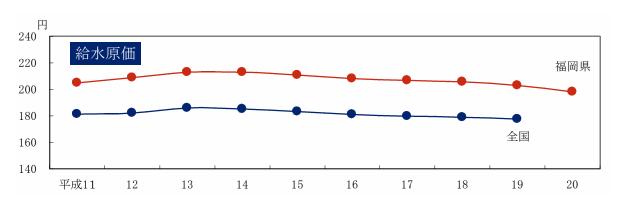
年 度	平成11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
福岡県	3,355	3,400	3,437	3,447	3,454	3,443	3,412	3,444	3,464	3,546

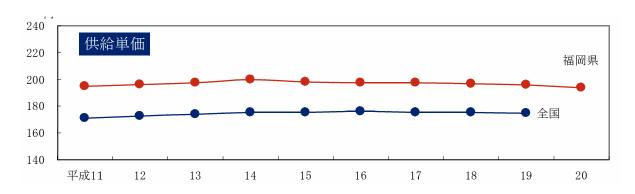
※ 基本料金・メーター使用料を含む

6 給水原価と供給単価(上水道)

給水原価と供給単価は、それぞれ198.17円/m3、193.82円/m3となっており、毎年少しずつ減少していますが、全国平均と比較すると上回っています。

給水原価と供給単価の推移(上水道)





									<u>Z:円/m3)</u>			
年 度		平成11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
給水	福岡	岡県	204.89	209.03	213.09	213.10	210.84	208.20	206.78	205.62	202.89	198.17
原価	全平	国均	181.38	182.27	186.02	185.16	183.36	181.16	179.74	178.83	177.45	未公表
供給	福岡	岡県	194.82	196.06	197.47	199.80	198.02	197.62	197.54	196.69	195.90	193.82
単価	全平	国均	171.03	172.55	174.09	175.19	175.17	176.09	175.21	175.20	174.78	未公表

○ 給水原価: 有収水量1㎡当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを表すもの。

○ 供給単価: 有収水量1㎡当たりについて、どれだけ収益を得ているかを表すもの。